

国道 337 号線を長沼方面へ。国道 274 号線を右折し、三川交差点を岩見沢方面へ左折。約 30 分

追分・夕張方面の列車に乗車。追分駅で岩見沢方面の列車に乗り換え。約1時間20分

約 1 時間 15 分

このくらい
が丁度いい。



由仁町 誕生120年 町勢要覧 2012

「都会に近い田舎」のまち

ここは、北海道由仁町です

「やっぱり由仁がいい！」

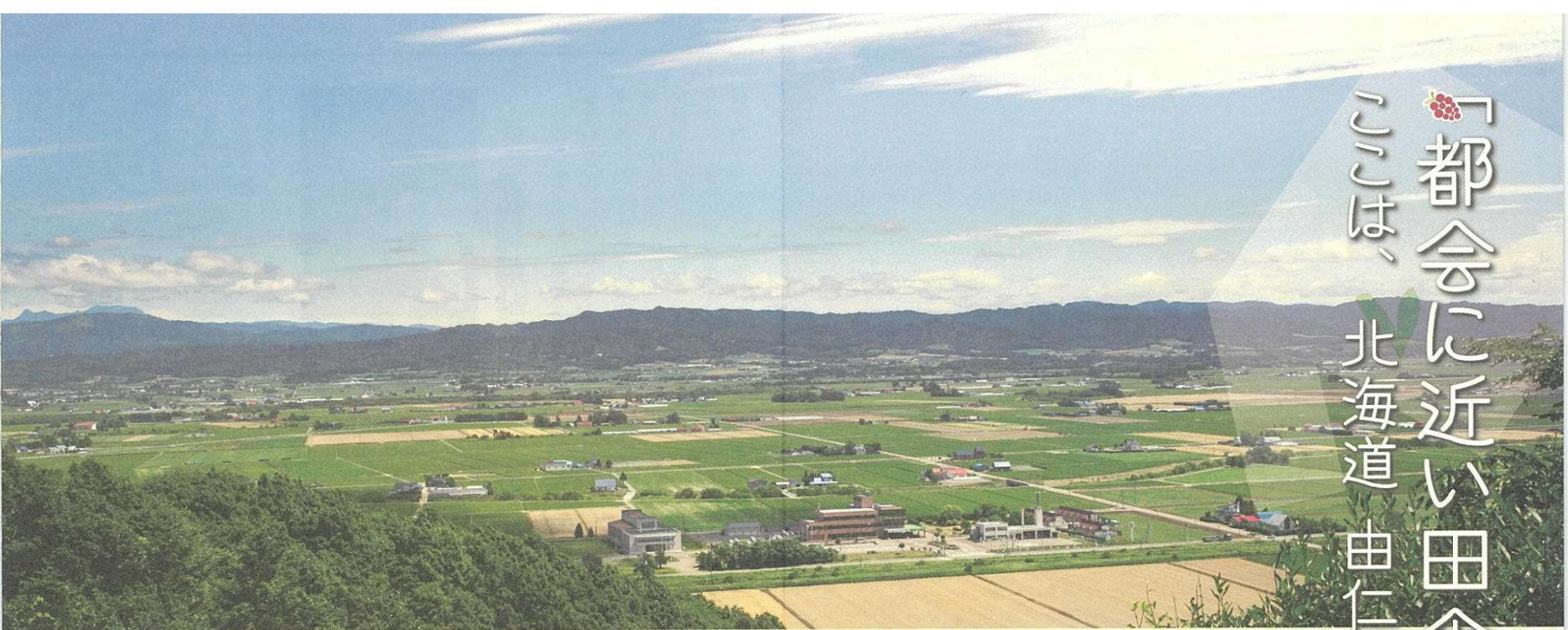
北海道の道央南部に位置する由仁町は、南北に流れる夕張川と馬追（マオイ）丘陵に囲まれ、なだらかな土地に北海道ならではの雄大な田園風景が広がる、人口約6千人のまちです。

北海道の中では温暖で、積雪も少なく、一年を通じて過ごしやすい気候に恵まれ、道都の札幌市までは車で約1時間、北海道の空の玄関・新千歳空港までは車で約30分、本州と北海道を結ぶフェリーが寄港する苫小牧港までは車で約1時間と、道内主要都市へのアクセスが便利な「都会に近い田舎」のまちです。

温暖な気候と肥沃な大地、そして夕張山系の豊かな水。これらを生かして、町では古くから米作りが行われてきました。小麦などの主要農作物のほか、近年は、原木しいたけやいちご、花きなど、さまざまな野菜や果物などの生産も盛んで、道央エリアの食糧供給基地として重要な役割を占めています。

また、由仁町を語るうえで外せないのは、その豊かな自然を生かした観光資源。国内最大級の規模を誇る英国風庭園「ゆにガーデン」や温泉宿泊施設「ユンニの湯」をはじめ、道内屈指のゴルフコースやパークゴルフ場、キャンプ場や観光農園など、大自然の息吹を間近に感じられる施設が設けられています。

こうしたまちづくりの根幹にあるのは「やっぱり由仁がいい！」ということ。由仁町は、人と大地が織り成す未来へ、ずっと住みたいと思うまちを目指したまちづくりを進めています。



歴史

先人の努力が築いた 豊かな大地。

由仁町の歴史は現在から120年前、明治25年（1892年）に始まります。この年、空知地方の炭鉱から産出される石炭を室蘭方面へと輸送するため、岩見沢～室蘭間に鉄道（現室蘭本線）が開通。由仁はこの室蘭線沿線の中核として発展していきます。由仁町農業の基幹作物である水稲栽培は明治27年頃からスタートしますが、その歩みは決して平坦なものではありませんでした。水源である夕張川や由仁川は今でこそ穏やかな表情を見せていますが、当時は豪雨や台風に襲われる度にはらんし、農作物に甚大な被害を与えたのです。しかし先人た

ちは諦めませんでした。不屈の精神で困難に立ち向かい、治水やかんがい施設の整備に地道に努めてきたのです。現在の由仁の肥よくな大地は、そうした先人たちの不断努力のたまものです。



北海道初のかんがい用大貯水池「古山貯水池」



明治19年 由仁開拓。下国岐三、古川浩平 古川に入地。
明治25年 由仁村設村される。
戸長役場が設けられる。

私立由仁小学校開校。
川端地区に広島県人斉藤八六一家が入植。
人口は280人。

明治28年 三川に愛知県三河国新川町から加藤平五郎が19人の小作人を連れて移住。

明治31年 私立三川小学校開校。

明治32年 私立川端小学校開校。

明治35年 第1回村議会選挙が行われる。

明治38年 北海道初のかんがい用大貯水池 古山に完成。

昭和11年 天皇陛下、伏見台で陸軍特別大演習を御統監。

昭和20年 村立由仁病院開業。

昭和21年 由仁・三川・川端に中学校ができる。

昭和25年 町制施行により、「由仁町」となる。人口は12、808人。

昭和32年 人口が13、404人となる。

昭和39年 由仁市街地で水道給水開始（518戸）。

昭和42年 町章・町旗制定。

昭和47年 南空知消防組合設立。由仁支署設置。

昭和50年 第1回百足まつりが由仁市街4条通りで行われる。

昭和57年 町民憲章制定。町の木「イチイ」、町の花「キク」決定。

昭和58年 役場改築工事を完了。現在地で業務を開始。

昭和59年 字名地番改正。

昭和61年 三川中学校と川端中学校が統合。

昭和63年 愛知県碧南市と青年友好都市を提携。

平成元年 第4回はまなす国体ゲートボール大会を町民運動場で開催。

平成2年 東三川で北海道初のオオツノシカの角化石と

マンモスの臼歯化石が発見される。

平成4年 開町100年。

平成5年 生涯学習施設「ゆめっく館」完成。

平成13年 ゆにガーデン完成。

平成24年 三川小学校と川端小学校が統合、由仁中学校と三川中学校が統合。
開町120年。

由仁町のあゆみ



特産品

地元の農産物をつかった『おいしい』がいっぱい

由仁町にはさまざまな特産品があります。まずは町の農業の主力であるお米。農薬や化学肥料を極力使わずに育てた減農薬米は、安心でおいしいお米として高い評価を受けています。

お米以外の商品作物の栽培も盛んで、「トルコギキョウなどの切花や食用ほおずき」「あき姫」などの高級いちごや原木しいたけなど、由仁ブランドの農産品は、ますます広がりを見せています。

採れたての野菜のおいしさをそのままパックした加工品も由仁の特産品の一つ。甘みたっぷりのスイートコーンやホワイトアスパラガスの缶詰は贈り物にも最適です。また、日本で唯一作られているオートミールは、近年ヘルシーフードとして注目を集めています。その他、平成23年に閉校した由仁商高生が企画・商品化した、「ハーブと道産タマネギを使った「愛郷ドレッシング」」は、新たな町の特産品として好評です。

農業

夢いっぱい
実りの大地



開町以来、町の産業の基盤となってきたのは農業。特に古くから行われてきた水稲は、町の基幹作物として生産され、減農薬による高品位米生産にも積極的に取り組むなど、美味しい道産米を全国へと送り出しています。その他、小麦や大豆、てん菜、玉ねぎ、長芋などの主要な農作物や、キャベツやゴボウ、カボチャなどの野菜の生産も多彩で、大消費地である札幌への野菜供給基地としての重要な役割を担っています。また、花き栽培や近年ではいちごや原木しいたけの生産も盛んです。こうしたさまざまな農作物の生産を支えているのは、豊かな水と肥やかな大地、そして恵まれた気候。由仁町には農業をするのにピッタリな3つの好条件がそろっているのです。

『農業を支えることは、
美しい風景と自然を守ること』

中村 隆浩 さん

自分の所ではお米と小麦、大豆を生産していますが、由仁は水田もできるし、畑作にも向いているオールマイティな町なんです。水が良いからお米ができるし、土が良いから長いもやジャガイモも美味しく育つ。実はこうした土地は道内でも珍しいんです。つまり、個性とアイデア次第でいろいろな作物にチャレンジできる訳です。緑豊かな田園がどこまでも続く由仁町の風景はとても美しい眺めです。われわれ農家はより良い農作物を消費者に届けることで「由仁町」の名をPRしていくと共に、この田園風景を守ること、由仁の美しい景観を守っていききたいと思っています。



由仁の
特産品



いちご



オートミール

アスパラガス



スイートコーン



愛郷ドレッシング

トルコギキョウ



減農薬米



原木しいたけ



食用ほおずき



観光

森を愛でる自分に
出会う町。

緑豊かな由仁町には、子どもから大人まで楽しめる魅力的なスポーツが数多くあります。なかでも町のシンボルと言えるのが、広大な敷地に美しい花々が咲き誇る日本最大級の英国風の庭園「ゆにガーデン」です。園内には『幸せ』をテーマにした15か所のガーデンが設けられており、初夏には102万本のリナリア、そして秋には50万本のコスモスと、四季折々の花々が目を惹きつけてくれます。お腹が空いたら、由仁町で採れた旬の野菜やハーブを使った美味し

いメニューに舌鼓。家族連れからカップルまで、訪れるのにピッタリで、「恋人の聖地」にも選ばれています。

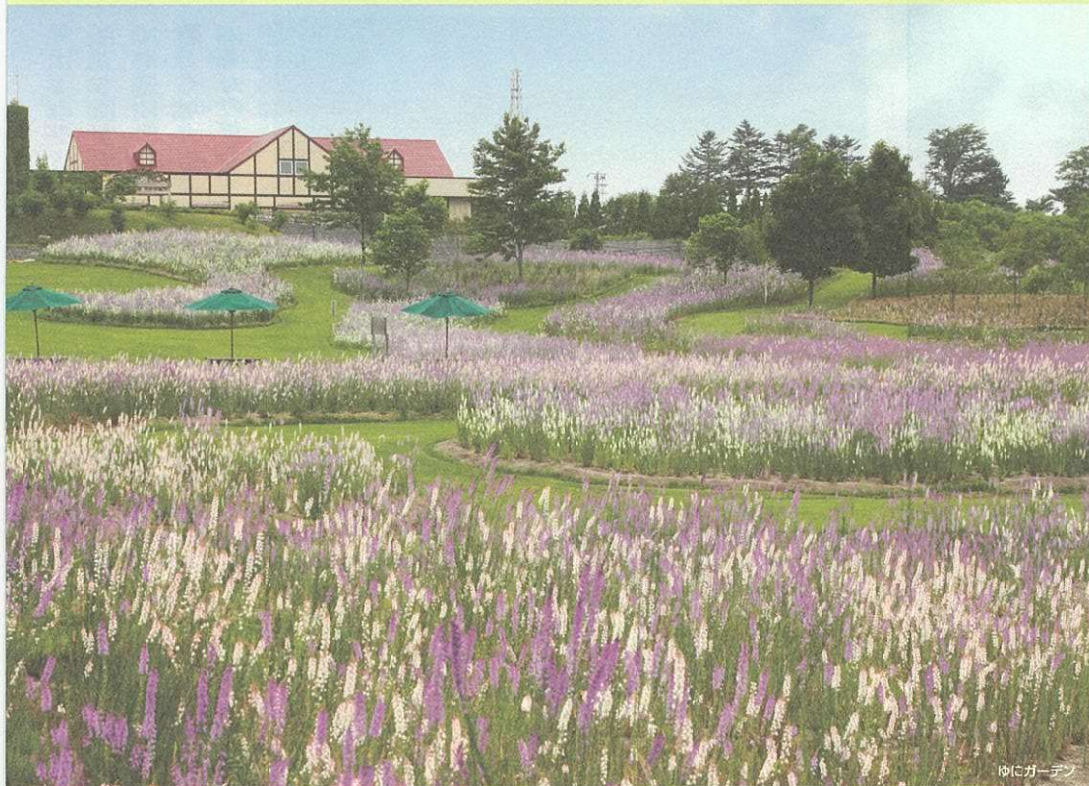
もう一つの自慢は、道内を代表するゴルフコースが2つもあること。「札幌ゴルフ倶楽部由仁コース」は、過去にANAオーブンが行われたチャンピオンコース。個性豊かな27ホールがそろった「ユニ東武ゴルフクラブ」も人気のコースです。

もう少し手軽に楽しむならパークゴルフもおすすめ。町内には完全バリアフリーの「三川パークゴルフクラブ」と、「薫りの里パークゴルフ場ゆにっPA!」の2つのパークゴルフ場があります。どち

らも36ホール用意しており、一日いっぱい遊ぶことができます。自然をとことん満喫したい人たちに人気なのが「古山（ふるさん）貯水池自然公園オートキャンプ場」。バードウォッチングや昆虫採集、ホタルの観察など自然と肌でふれ合えます。

さて、たっぷり遊んだ後は、温泉でのんびりするのはいかがでしょう？「ユニニの湯」は地元だけでなく郊外からも多くの人が訪れる温泉宿泊施設。めずらしいコーヒー色のお湯は肌がつるつるになると評判で、神経痛や冷え症などにも効果があります。またハーブの郷・由仁ならではのハーブ湯も用意しています。

この他にもファームレストランや観光農園など、まだまだ見どころはいっぱい。のんびりと時間を過ごしたくなったら、由仁にぜひ足を運んでみてください。



ゆにガーデン

ゆにガーデン

北海道夕張郡由仁町伏見 134-2
TEL: 0123-82-2001

ユニニの湯

北海道夕張郡由仁町伏見 122
TEL: 0123-83-3800

札幌ゴルフ倶楽部由仁コース

北海道夕張郡由仁町光栄 568
TEL: 0123-83-2777

ユニ東武ゴルフクラブ

北海道夕張郡由仁町山形 132
TEL: 0123-83-3400

古山貯水池自然公園オートキャンプ場

北海道夕張郡由仁町古山 430
TEL: 0123-83-3633

三川パークゴルフクラブ

北海道夕張郡由仁町旭町 19
TEL: 0123-87-3367

薫りの里パークゴルフ場 ゆにっPA!

北海道夕張郡由仁町伏見 138
TEL: 0123-83-3213



三川パークゴルフクラブ



ユニ東武ゴルフクラブ



ユニニの湯



古山貯水池 自然公園オートキャンプ場



「農」のある生活

実り豊かな大地に憧れ、由仁町で農業に関わるお仕事を選んだ二組の方たちに、その魅力を語っていただきました。

いちご農家 渡辺 好弘さん
未佳さん



フラリと就農相談会に足を運んだのをきっかけに、平成16年に名古屋から由仁へ移住しました。それまでは13年間会社勤めをしていたのですが、当時は毎日夜中まで残業し、休日もちろんに取れない状態でした。現在は離農した方の跡を継ぐ形で、あき姫とけんたろうという2種類のいちごを育てています。始めた当初は収量が伸びなくて大変でしたが、ようやく軌道に乗ってきた感じです。苦勞もありますが、夏は過しやすいいし、周りの人たちも優しい。そして何よりふたりで一緒に居られる時間が増えたのが良いですね。



「自然」と「土」のある生活

自然に恵まれたゆとりと潤いのある田園住宅の普及を目指し、「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」が全国で施行されたのが平成10年。以来、各地で住宅計画は進められていますが、その中でも由仁町優良田園住宅は理想的なモデルとして、全国から注目を集めています。実際にお住まいの方たちにその感想をお聞きました。



駒澤 誠さん



ここへ来るまでは恵庭で官舎暮らしをしていました。でも子どもたちが大きくなるにしたがい手狭になってきたので、いつかは一戸建てを買おうと考えていたんです。そんな折に「由仁町優良田園住宅」の存在を知り、2期目の募集に応募しま



した。空気がおいしく夜も静かなので、それまでの生活に比べると疲れがよく取れるようになりましたね。自然が豊かで、キツネなどの野生動物が顔を出したりもするので子どもたちも喜んでいきます。家庭菜園で採れた野菜を交換しあったりと、人情味のある近所付き合いも良いですね。

レストラン「ア・ターブル」オーナーシェフ

山角 紳也さん



1年半ほど理想の場所を探し歩いて、平成23年ようやく現在のお店をオープンさせました。由仁町は土が良いから野菜が美味しい。だからどうしてもこの町の畑のすぐ傍で店を始めたいと思っていたんです。メニューには店の裏の畑や近隣の農家さんに毎朝足を運び、自分の目で吟味した旬の野菜を必要な分だけもいで使っています。野菜の鮮度が良いと、お客様からも好評ですね。今後は商売抜きで、地元の野菜の販売スペースを設けるなどとして、由仁の農業を盛り上げていければと思っています。



清水 克英さん



平成12年の第一期分譲の際に土地を買い、いつかは建てたいと考えていたログハウスを構えました。もともと60歳になつたら現役を引退して、郊外のゴルフ場のそばに住み、妻とゴルフ三昧の暮らしをしようと思っていたので、まさに人生設計通りといったところです。夏はガーデニングを楽しんだり、交流のある農家の方に田んぼをお借りして、近所の方々と一緒に米づくりに挑戦したりしています。ゆとりある時間をもつと贅沢に楽しみたい、落ち着いた自然環境の中で暮らしたいと考えている方には「由仁町優良田園住宅」は最適ですよ。

